

令和元年度

下水道事業決算状況

兵庫県 丹波市

令和元年度 丹波市下水道事業 決算概要

1 概 況（総括事項）

下水道事業を取り巻く経営環境は、処理施設の老朽化に伴う更新費用の増加や人口減少に伴う使用料収入の減少など、ますます厳しさを増しています。こうした中、令和元年度丹波市下水道事業は「丹波市下水道中期ビジョン」の基本理念である「次世代へつなぐ持続可能な下水道の再構築」を踏まえ、「事業継続性の確保」「安全で安心なまちづくり」「地域住民との連携」の3つの基本目標のもと、処理施設の長寿命化対策工事を計画的に進めながら、維持管理費と施設更新費用の削減に向け効率的な運転を行うための処理施設統廃合事業に取り組みました。

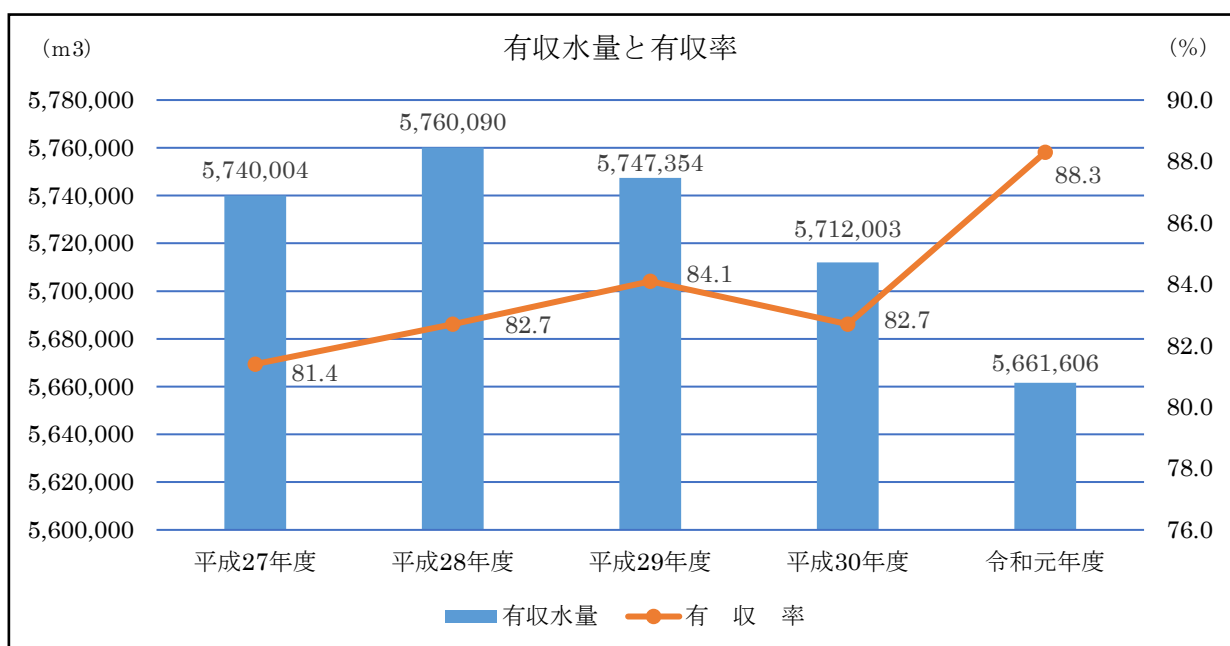
また、平成30年7月豪雨災害において被災した2施設の復旧工事が、国の財政支援を受けて完了しました。

水道事業との連携体制を構築・強化するため、令和2年4月の組織統合に向けた調整や条例整備を行いました。

広報活動においては、地域住民が下水道を身近に感じ、より一層の理解を深めていただく機会として、丹波 GOGO フェスタ 2019 にブースを出展し、下水道の正しい使い方講座やパネル展示に加え、ストラップやコースター等のオリジナルマンホールグッズの販売を行い、また、マンホールカードの無料配布を開始しました。

2 業 務 量

事 項	単位	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
汚水処理件数	件	19,671	19,768	20,067	20,192	20,276
水洗化人口	人	54,339	53,864	53,416	52,904	52,437
汚水処理水量	m ³	7,055,776	6,968,785	6,833,640	6,905,536	6,415,006
有 収 水 量	m ³	5,740,004	5,760,090	5,747,354	5,712,003	5,661,606
有 収 率	%	81.4	82.7	84.1	82.7	88.3



3 収益的収支

本年度の収益的収支については、事業収益は、3,134,662千円となり、前年度に比べ△2.8%の減少となりました。この内訳は、営業収益で1,150,785千円（構成比率36.7%）、営業外収益で1,983,622千円（構成比率63.3%）、特別利益で255千円となっています。

一方、事業費用は、3,031,126千円となり、前年度に比べ△5.0%の減少となりました。この内訳は、営業費用で2,546,139千円（構成比率84.0%）、営業外費用で481,779千円（構成比率15.9%）、特別損失で3,208千円（構成比率0.1%）となっています。

以上の結果、当年度純利益103,536千円を計上しました。

（税抜・単位：千円）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業収益	3,848,827	3,966,671	3,442,689	3,223,700	3,134,662
事業費用	4,055,477	3,952,569	3,428,235	3,189,481	3,031,126
当年度損益	△206,650	14,102	14,454	34,219	103,536

（単位：円）

使用料単価	197.40	198.04	199.45	200.59	201.77
汚水処理原価	248.08	204.16	205.52	202.53	191.12

4 資本的収支

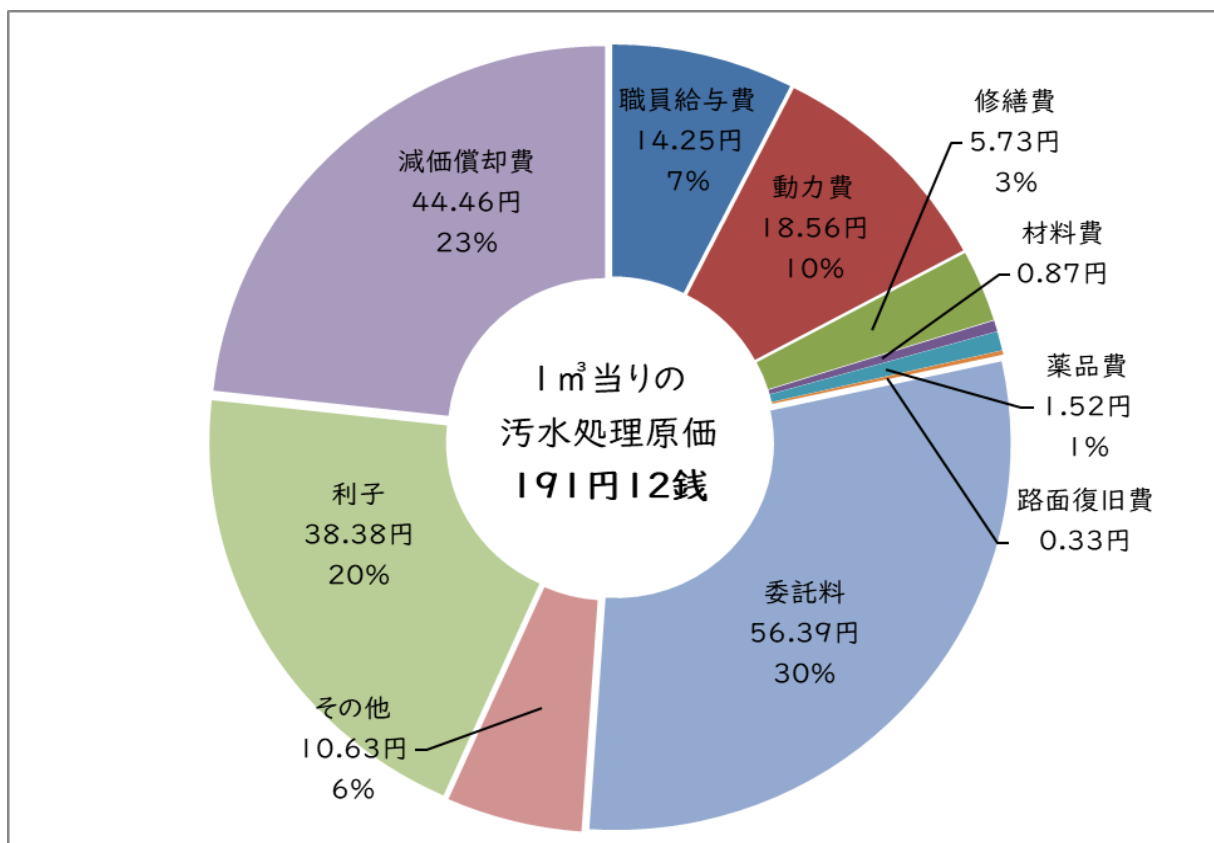
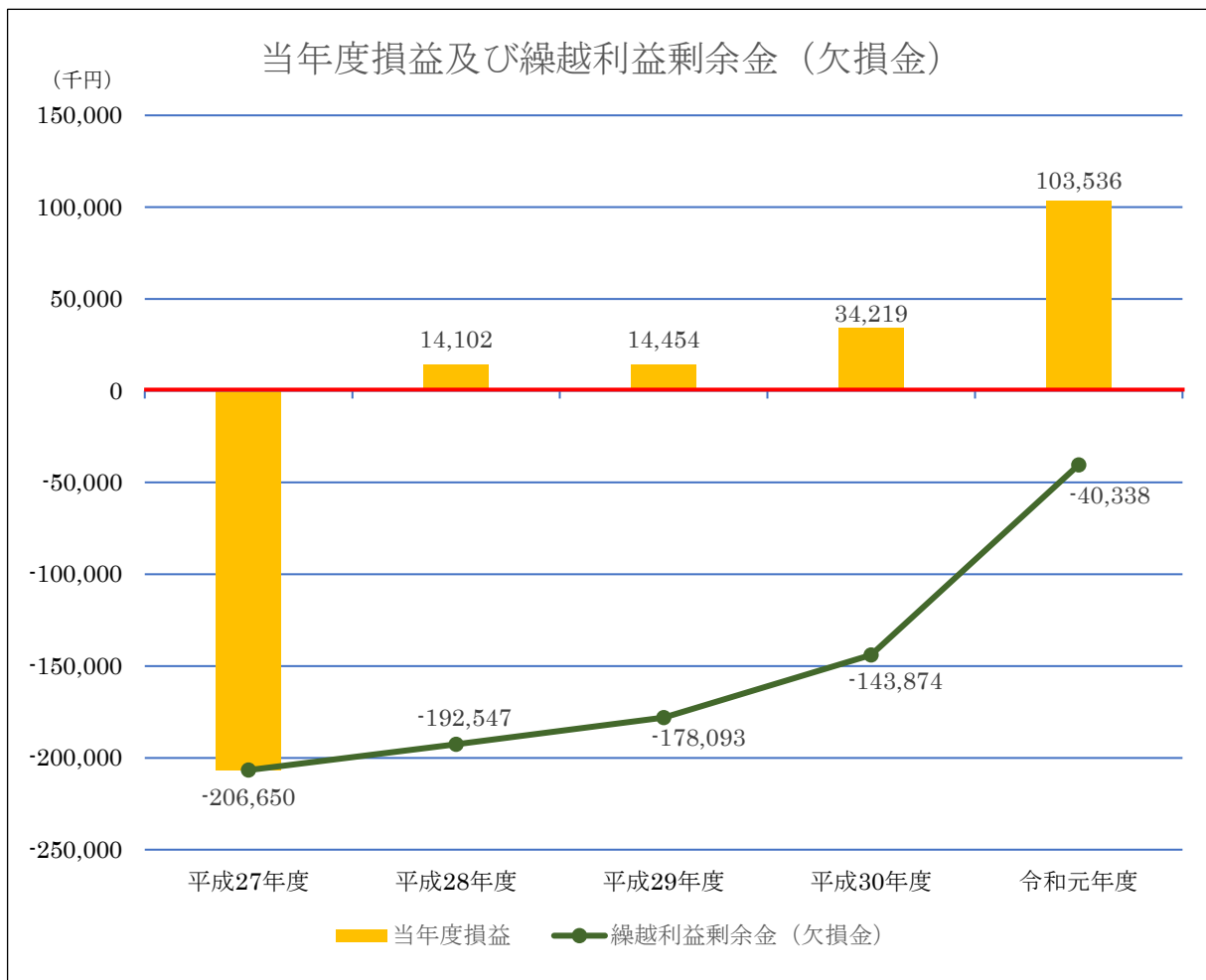
管渠建設費では、黒井処理区統廃合管渠建設工事（春日西部）、氷上西処理区統廃合工事（柿柴東）、氷上南処理区統廃合機械電気設備工事（下油利）、氷上南処理区統廃合管渠建設工事（下油利）、公共柵等建設・修繕工事など、総額130,251千円（税抜）を支出しました。

管渠改良費では、竹田・吉見・氷上西・川東・美和東処理区の集中管理装置無線デジタル化工事など、総額31,967千円（税抜）を支出しました。

処理場建設改良費では、氷上西浄化センター改築工事、黒井処理区統廃合工事（春日西部・電気）、黒井処理区統廃合工事（春日西部・機械）、竹田浄化センター改築工事（その2）など、総額230,086千円（税抜）を支出しました。

建設改良費及び固定資産購入費の支出額396,162千円（税抜）に対し、その財源として、企業債169,000千円、他会計補助金766千円、補助金196,777千円及び分担金及び負担金177千円を充当し、なお不足する額29,442千円については、過年度損益勘定留保資金29,195千円及び引継金247千円で補てんしました。

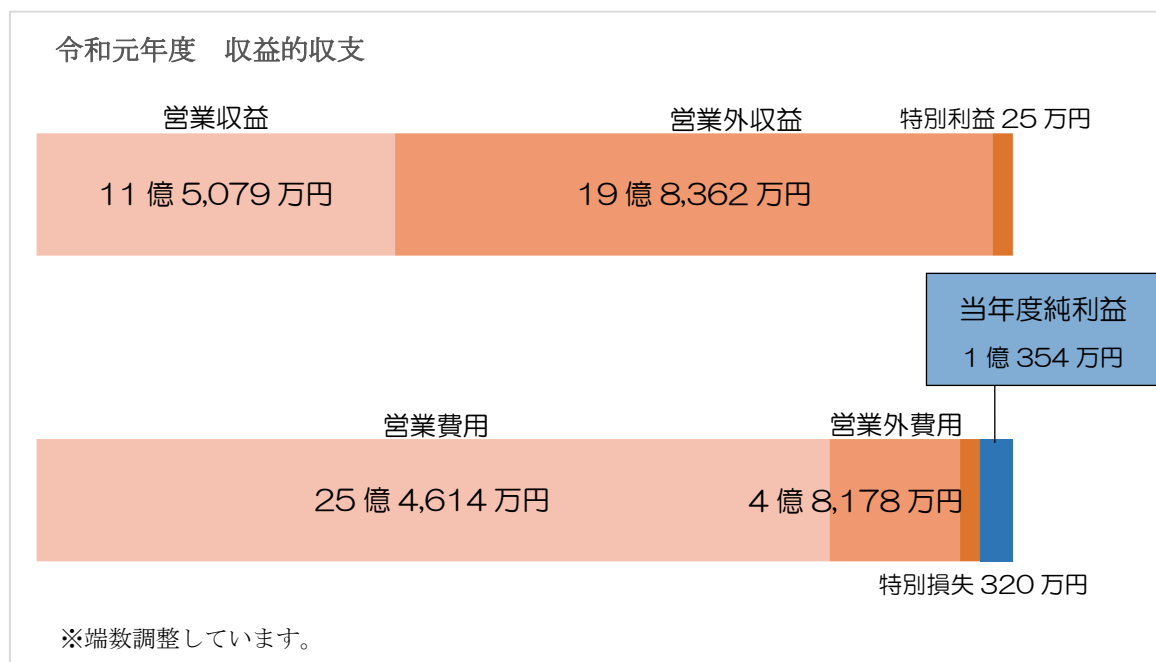
また、企業債償還金の支出額2,352,622千円に対し、その財源として、企業債901,600千円、他会計補助金868,330千円及び分担金及び負担金36,385千円を充当し、なお不足する額546,307千円については、過年度損益勘定留保資金546,307千円で補てんしました。



5 前年度決算との比較（収益的収支）

（税抜・単位：千円）

事 項	平成 30 年度 (A)	令和元年度 (B)	比 較	
			増減 (B - A)	比率 (%)
営業収益	1,157,278	1,150,785	△6,493	△0.6
下水道使用料	1,145,791	1,142,341	△3,450	△0.3
他会計負担金	10,231	6,072	△4,159	△40.7
その他営業収益	1,256	2,372	1,116	88.9
営業外収益	2,065,850	1,983,622	△82,228	△4.0
特別利益	572	255	△317	△55.5
事業収益計 (a)	3,223,700	3,134,662	△89,038	△2.8
営業費用	2,656,530	2,546,139	△110,391	△4.2
管渠費	69,729	73,339	3,610	5.2
処理場費	401,245	394,083	△7,162	△1.8
総係費	146,328	153,069	6,741	4.6
減価償却費	2,029,310	1,907,321	△121,989	△6.0
資産減耗費	9,918	18,327	8,409	84.8
その他営業費用	0	0	0	-
営業外費用	531,744	481,779	△49,965	△9.4
特別損失	1,207	3,208	2,001	165.8
事業費用計 (b)	3,189,481	3,031,126	△158,355	△5.0
当年度損益 (a) - (b)	34,219	103,536	69,317	202.6

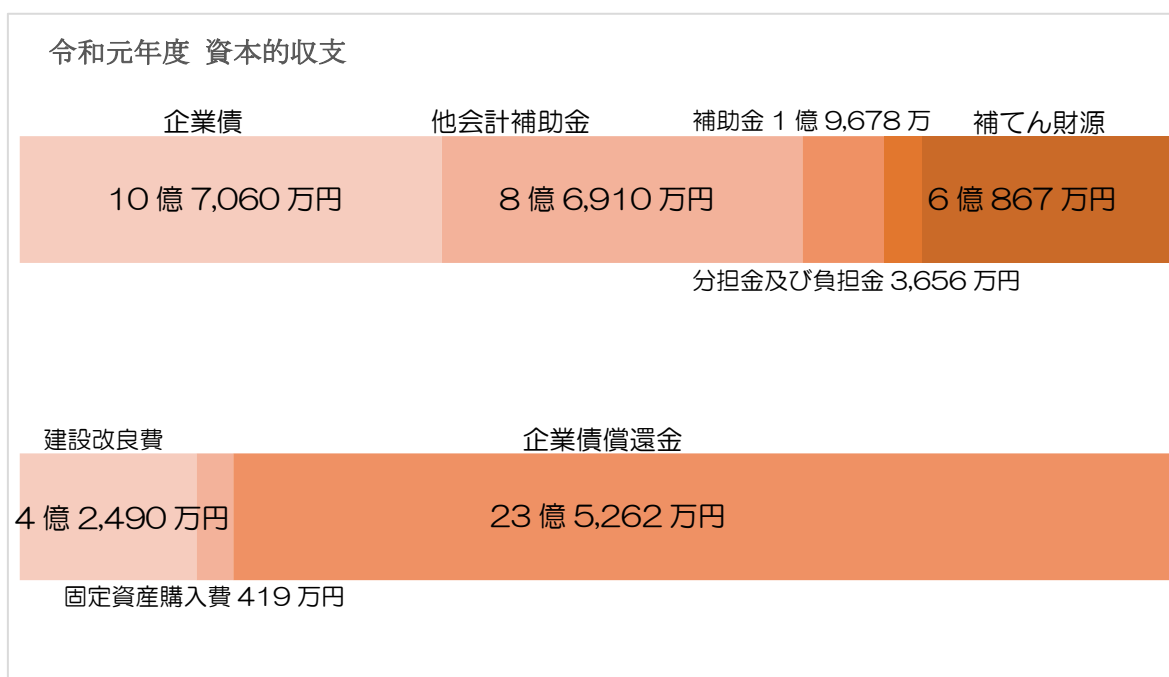


6 前年度決算との比較（資本的収支）

*収支の差額については、内部留保資金で補てんしました。

（税込・単位：千円）

事 項	平成 30 年度 (A)	令和元年度 (B)	比 較	
			増減 (B - A)	比率 (%)
資本的収入	1,872,941	2,173,034	300,093	16.0
企業債	986,600	1,070,600	84,000	8.5
他会計補助金	763,195	869,096	105,901	13.9
補助金	64,212	196,776	132,564	206.4
分担金及び負担金	58,934	36,562	△22,372	△38.0
資本収入計 (a)	1,872,941	2,173,034	300,093	16.0
資本的支出	2,501,142	2,781,708	280,566	11.2
建設改良費	231,603	424,896	193,293	83.5
固定資産購入費	723	4,190	3,467	479.5
企業債償還金	2,268,816	2,352,622	83,806	3.7
本支出計 (b)	2,501,142	2,781,708	280,566	11.2
収支の差額 (a) - (b)	△628,201	△608,674	19,527	3.1



令和元年度 丹波市下水道事業損益計算書

[平成31年4月1日～令和2年3月31日]

(単位:円)

営業収益		
	下水道使用料	1,142,340,861
	他会計負担金	6,072,000
	その他営業収益	2,372,400
営業収益合計		1,150,785,261
営業費用		
	管渠費	73,339,317
	処理場費	394,082,508
	総係費	153,069,270
	減価償却費	1,907,320,617
	資産減耗費	18,326,890
	その他営業費用	0
営業費用合計		2,546,138,602
		営業損失
		1,395,353,341
営業外収益		
	受取利息及び配当金	6,256,653
	他会計補助金	801,352,000
	長期前受金戻入	1,172,194,054
	雑収益	3,819,013
営業外収益合計		1,983,621,720
営業外費用		
	支払利息及び企業債取扱諸費	480,146,216
	雑支出	1,632,867
営業外費用合計		481,779,083
		経常利益
		106,489,296
特別利益		
	固定資産売却収益	0
	過年度損益修正益	254,880
特別損失		
	過年度損益修正損	3,208,206
		当年度純利益
		103,535,970
		前年度繰越欠損金
		143,874,171
		当年度未処理欠損金
		40,338,201

令和元年度 丹波市下水道事業貸借対照表

[令和2年3月31日]

(単位:円)

資産の部		負債の部	
固定資産		固定負債	
有形固定資産		企業債	21,913,534,385
土地	2,312,047,837	引当金	0
建物	1,739,011,512	固定負債合計	21,913,534,385
構築物	39,786,289,745	流動負債	
機械及び装置	3,171,991,608	一時借入金	0
車両運搬具	2,929,672	企業債	2,459,022,131
工具、器具及び備品	1,731,655	未払金	268,553,867
建設仮勘定	225,869,175	前受金	0
有形固定資産合計	47,239,871,204	引当金	10,656,600
無形固定資産		預り金	341,809
電話加入権	1	その他流動負債	0
その他無形固定資産	2,827,500	流動負債合計	2,738,574,407
無形固定資産合計	2,827,501	繰延収益	
投資その他資産		長期前受金	27,259,227,279
投資有価証券	0	収益化累計額	△ 6,100,637,739
投資合計	0	繰延収益合計	21,158,589,540
固定資産合計	47,242,698,705	負債合計	45,810,698,332
流動資産		資本の部	
現金預金	3,117,261,521	資本金	4,838,497,104
未収金	240,139,797	剰余金	
有価証券	0	資本剰余金	
貯蔵品	0	受贈財産評価額	442,788
前払金	9,100,000	国県補助金	0
その他流動資産	100,000	受益者負担金	0
流動資産合計	3,366,601,318	工事負担金	0
資産合計	50,609,300,023	他会計補助金	0
		その他資本剰余金	0
		資本剰余金合計	442,788
		利益剰余金	
		減債積立金	0
		建設改良積立金	0
		当年度未処理欠損金	△ 40,338,201
		利益剰余金合計	△ 40,338,201
		剰余金合計	△ 39,895,413
		資本合計	4,798,601,691
		負債資本合計	50,609,300,023